

## 『日本再生は自立だ』

No.224

皆さんこんにちは。敗戦後GHQは日本が二度と米国に楯突けない様に思想構造を綺麗事で根本から塗り替えた。憲法・軍隊・学校教育・マスコミ・歴史観等。その結果、知的集団たるマスコミは綺麗ごとには飛びつき、政治を糾弾対象と捉え、国民には自らを無謬の存在として刷り込んだ。ルーズベルトはニューデール政策失敗の不況を打開すべく戦争したかった。真珠湾攻撃をさせて公約の戦争不参加を覆し、経済復活を勝ち取った。当時の米国政治家は左傾思想と人種差別で固まり、黄色人の日本を真珠湾攻撃に誘い出し、参戦を勝ち取り米国民を騙したのだ。日本のマスコミは、国内を腐敗させるGHQの綺麗事に飛びつき、神の如く振舞って今に至る。海外の脅威は中国だが、国内の脅威は根深くても我々が変われば何とかなる。2月の選挙は高市首相の真摯な目線と、この目線に気が付いた国民の正直さだ。街中で武装警官が機関銃を持つのが欧州、日本とは市民相互の信頼感が根本的に違う。海外の来訪者が羨む世界唯一の安全と信頼を中国やマスコミから守るには、一人一人が自立する事が必須だ。自立なくして自分の安全はない。

二〇二六年三月二十七日 社長 宗像 章

## 『日本政治の歴史的転換点』

No.223

皆さんこんにちは。総選挙で高市首相が大勝した。日本国民の直観力は正しかった。批判ばかりで方向性を示さないマスコミや左派系野党の本質を見抜いた結果だ。海外からみれば日本は理想郷に見える。しかし日本人から見れば課題は山積している。高市首相は圧倒的議席を背景に今までやれなかった事をやれる反面、自民で復帰したみそぎ議員や古参議員の精神構造は旧来のままで金銭感覚も一般人と同レベル。政治家に必要な清廉さは持ち合わせていない。今後、総理の課題解決の実行時にこれらの身内が足を引っ張るだろう。高市内閣が筋を通してメリハリの利いた改革が進むよう期待を込めて見守りたい。

選挙前のマスコミと財務省の精神的荒廃は目を覆いたくなる状況だった。今後の大きな課題は、社会変化に合わせた憲法改正、象徴天皇制に沿った皇室典範改正、日本の技術力の世界展開援助、放送局の電波割当て更新審査の実施、厳しいスパイ防止策実施、政治家の厳格なインテリジェンス審査、防衛力強化と平和は自ら守るものと意識改革、外国人の入国や永住の審査基準強化等、健全さの回復は多岐に亙る。

二〇二六年二月二十七日 社長 宗像 章

皆さんこんにちは。高市首相が解散総選挙を決断し表明した。十九日の表明会見を見て私は興奮して寝られなくなった。歴代首相の会見で自分の意志をこれほど正直に本質に触れて表明した人は見たことがなかったからだ。しかも四〇分余り淀みなく抽象的なごまかしもなかった。これを見たら高市嫌いのマスコミも野党もグウの音も出ないと思われた。但し高市氏が表明したのは未来への道筋であつて結果が出なければ意味がない、じっくり見させてもらおう。進むべき方向性は大いに賛同するからぜひ成功に導いてほしい。今まで政治家は部分最適ばかり追求してきた。視野の狭さを隠せる上に専門性を強調して外からの批判をかわせるからだ。本来は目線を全体最適に置きその中で部分最適を探すべきなのだ。日本全体を見渡し部分最適の優先順位を見極めて順番に解決する。これを逆にすれば部分解決できても全体はまとまらない。皆が自分の立場を優先してきた結果だ。今度の選挙は国民に選択の直感を問う選挙だ。人間社会の本質は「信頼」と「自立」だ。世界も日本も会社も同じだ。間違つた信頼は、依存と隷属に通じる。

二〇二六年一月二十七日 社長 宗像 章

## 『世界が質を支える倫理観へ変化』

No.221

皆さんこんにちは。日本は停滞三十年と言われてきたが、その間に技術開発の対象軸が変わっていた。消費者に身近な商品から対象が産業基盤の材料へと変わり、日本が世界から見えなくなっただけだった。半導体・畜電池・変圧器・造船・航空機・高速鉄道等これらの構造材の品質が他国とは圧倒的なレベル違いとなり代替がきかない。日本人の品質を支える物づくりへの文化や倫理観は、お金・効率・外見で勝負する世界の価値観とは時間軸の長さで根本的に異なる。日本の素材の品質の高さが、信頼という価値観に商売の価値観を変え始めたのだ。信頼という価値観は大陸の価値観では優先順位が低かった。「品質イコール信頼」は「売ったら終わり」の価値観や奪い合いの価値観とは違う。この点で今後の印刷業の環境はどうなるのか？AIの浸透レベルと市民の情報獲得方法がどう変わるかで決まるのだろうか？印刷物の持つ総合力は多種多様で普通の消費財とは違う。顧客は、印刷業の総合力を問う時代へ変わってくる。顧客に対するマーケティングの行動力と、相手を知りたいという欲求の感性が引力として問われている。

二〇二五年十二月二十七日 社長 宗像 章

皆さんこんにちは。この十一月という最繁忙の月に社内外であらゆる変化が起きました。社内ではネオGP移行の真最中にサーバーが落ちて会社が麻痺しかけた。この最悪の中で皆の努力によって三日間で麻痺から復旧させた。これは凄かった。

一方日本国内では、高市総理が就任後たった一ヶ月で政治の舞台を劇的に変えた。外交・内政・国会の各方面が猛烈なスピードで動き始め、旧来の政治家の無能ぶりを露呈させた。世界の近代政治史でも稀にみる逸材として光を放ち始めている。日本人特有の曖昧さと無駄な時間を排除し、具体的に必要な判断を示して実務が前に進むようにしている。無知な素人大臣を排して財政の道筋を示し、予算を具体化する。世界最悪のスパイ天国にセキュリティクリアランスを示して国防と企業機密を守る。中国の脅しにも毅然とした態度で主張し、国防こそ最優先との意思を世界に示した。マスコミのゆがんだ報道姿勢に対しては悪用されにくい明解な発信方法を使う。まさに組織のトップのあるべき姿を、猛烈な勉強と準備のあり方で実践している。成熟した日本社会に希望の光を示し始めた。

二〇二五年十一月二十七日 社長 宗像 章

皆さんこんにちは。信念ある女性首相の誕生で日本政治が筋を通す形に戻ります。利権まみれの新聞・TV・二世議員が作り出す腐敗政治の中で久々の清涼感です。今後の毅然とした政権運営を期待したい。

技秀堂も今期は運営基盤再構築の節目です。ネオGPとデミング制度は、今後の二十年を支える本質的な基盤づくりで、産みの苦勞を乗り越えなければならぬ。社是の「幸」には人により多様な考え方があがるが、そこに至る道程には向上すべき質の領域がたくさんある。業務では時間の正確な実態把握という無機質な領域と、人間の気持ちの交流という心や感情の領域、この相反する領域における「質」の向上こそが会社をあげての挑戦課題なのです。相反する領域のバランスをどうとるか個人生き方の中でもとても大切です。どちらかに偏り過ぎるといつか破綻する。苦勞して作り上げた安定がいつまでも続く訳ではない。安定・バランスは長期的な目線で考えることが大切だ。今月ノーベル賞受賞者が二人出たが、みんな長期に亙りしごとく研究したからこそ、社会に貢献でき世界に認められた。短期の視点は間違いなのだ。

皆さんこんにちは。今回の方針発表会は二十数回の歴史の中で最高の内容でした。皆さん自身が苦心して作った資料を配布しないで思いを伝えることに集中した結果でした。同業者が業績不振に苦しむ中、十五年以上黒字を続けた背景には実はこの発表会で示された空気があるのです。社員諸君が自ら考え、自ら改善し、これを諦めずに続けた結果なのです。仮に課題に対して毎週1%の改善を1年間繰り返すと、複利計算では67%も改善したことになり、2年だと2.8倍です。この「改善の継続は力なり」は強く意識しなくてもこれ程の力があるのです。欧米の経済理論にはこの発想はありません。現実はこの様な単純ではないのですが、多くの社員による地味で静かな実践が微妙な改善の山となり、自力となったと思うのです。今回の発表会の姿と業績結果はこの結果なのです。技秀堂の経営哲学はよい栄養でした。良い栄養で育った体力を具体的な目標に向かって爆発させる時期が来たのです。今期の課題ネオGRは、体力養成期からメダル獲得期に変化した潮目なのです。これからは目標も成果も見え易くなります。頑張ろう！

皆さんこんにちは。今は世界中が軽蔑に値する指導者の下で動く時代になっている。社会には多様な価値観が存在する。しかし指導者となった人間には己の欲望を封印して、その人生を公に捧げる覚悟と哲学が必要だ。小さな規模の指導者にも己の器に見合った「足るを知る」生き方が求められる。本来は大小の指導者がこの価値観を共有し間違った流れを抑制して全体最適に導くべきだが、自己中心的な価値観が蔓延している。短期の価値観で判断すると大切な価値観を見失う。長期的影響や結果が見えなくなるからだ。今現在の損得の価値観は正しい様に見えても自己都合が優先しており、殆んどは後悔の原因となる。民主主義の長所短所はここにある。投票結果にはその時々、短期的価値観が反映する、大多数は長期的思考を持たない。米口中の指導者を見よ。皆自己の欲望で動いており宇宙から見たら何とぶざまに軽蔑される人間達か。石破総理も同じだが彼を利用したがる人間の利己的価値観がもろに見える。自己抑制の利いた小指導者が不足しているのだ。皆さんはこの構造を知り、人から軽蔑されない生き方をしてほしい。

皆さんこんにちは。最近の欧米の研究で日本の特殊性が急に認知され始めました。日本語の表現力、日本人の遺伝子、世界最古の磨製石器や土器、和の精神、成功するまで続ける研究開発、特許の無償公開、手抜きのない社会構造、工業素材の圧倒的な世界シェア等、日本人なら違和感のないことに先進国の大学研究者達が気づいて発表しているのです。縄文人は3万5千年前から土器を焼き煮炊きを始め豊かな食生活をして、大規模な殺し合いはせず話し合いで地域交流をしてきました。森の豊富な食糧と豊かな海岸線の魚介類がこれを支え、水田稲作や製鉄は中国に後塵を拝しても、奪い合いと殺戮を繰り返す大陸民族とは真反対の平和な社会構造と精神構造を育んできたのです。ロシア・ユダヤ・中国は今や戦争の真っ只中で、米国ではトランプが大統領の地位に執着しており世界秩序の大崩壊が始まりました。技秀堂は日本人が持つ和の精神を生かし、戦い方を磨くのではなく、お客様から信頼を勝ち取る技を磨くことに精神を集中させてきました。日本人の本質、目に見える部分より見えない信頼獲得に注力していきましょう。

皆さんこんにちは。最近の研究で日本の特殊性が明確になっていきます。考古学、遺伝子研究、地質学、物理学等々が相互に絡み合って、日本の歴史が推論の古代から実証科学へと変貌しています。技秀堂は創業以来七十年以上たち、時々昔の姿を鮮明に思い出す私ですが、もう少し遡り7百年前となると鎌倉時代の元寇直後になってしまうのです。更に5百年前は聖徳太子の頃になり歴史はあつという間に遡れます。今は世界の若者が漫画アニメで日本語を学び日本文化に憧れ来日します。中国では4千年の歴史を誇らしく語りますが、群馬の岩宿遺跡をはじめ1万カ所以上で3万5千年〜2万年前の磨製石器が打製石器と一緒に発見されています。これは1万6千年前の縄文土器と一緒に世界最古の人類文明の遺跡なのです。なぜ日本なのかを調べると面白いのです。当時日本は食糧豊富で殺し合いの跡もなく2万人程度の縄文人は1万年以上平和に暮らしていたのです。世界が驚く他人の物を奪わない感性はこの頃が原点かもしれません。縄文土器は南米にまで渡っていて、もう昔学校で学んだ日本の歴史は音を立てて崩れています。

皆さんこんにちは。今回は平和ボケが自分をダメにするお話です。人間は昨日・前月・去年と全く同じ生き方をしていると必ず心のボケが始まります。何か改善や工夫を加えて変化する生き方をしないと心は必ず萎えてきます。質に変化を加え向上させる刺激こそが生きている証拠なのです。

「ああ今日も平和だった！」は実は死の始まりなのです。自分流の工夫を加え自分をリフレッシュする。変化の波を自分だけでなく周囲の人にも伝えられたら、自分のリフレッシュ効果は倍増します。我社はこの五年程で仕事のドタバタをほぼ解消し終え、見えない質の変化は素晴らしものでした。見えなくても業績に表れています。この流れは今後も継続しましょう。しかし人間や会社とは、経済的に拡大しないと充実感を味わえない生き物なのです。「給料が上がる、利益が伸びる」がないと、目に見える変化を起こす財源に苦勞して変化のスピードが鈍ります。もうすぐ人の内面や社員同士の気持ちの繋がり方の改善案が具体化します。次はこれを活かして財源を潤沢にして、お金の使い道で変化がよく見える時代を呼び込もうではありませんか。

皆さんこんにちは。世界で紙幣からカードへの移行が一気に進む中、昨年7月に壱万円札が福沢諭吉から渋沢栄一に代わりました。日本経済の生みの親といわれる渋沢ですが「論語と算盤」で、『会社経営は論語にかなった商売をしなければいけない、しかし赤字では商売は成り立たない、質の高い仕事をして算盤に見合う利益を上げ、上がった利益は正しく使え』と書いています。論語とは「仁義礼智信」です。一方世界では根本原理が忘れられ混沌とした争奪戦状態。本来の人間社会には時間と空間を超えた不動の原理原則があるのです。◆知識のある人は勇気が足りない↓勇気がある人は教養が足りない↓経験するには勇気がいる↓小さな成功体験をいくら積んでも勇気は出ない↓小さな失敗経験こそ本当の知識勇気につながる↓失敗を避ける人にならぬよう自戒すべき。◆人から信頼される生き方は長い時間軸で判断する癖が必要です。陸続きの民族の歴史は争奪と殺戮の繰り返しで、判断基準は目前で展開する時間軸しかなかった。平和な日本人の時間軸は、仕事に現れ製品品質に現れます、仕事の質は人間が作るのです。